

ベガルタ仙台レディース後援会通信

The Support Association of VEGALTA SENDAI LADIES



ベガルタ仙台レディース後援会【2016年度第3号（通算19号）】 6月26日発行

◆熊本地震被災地への義援金募金活動に協力

ベガルタ仙台レディース後援会は4月23日のINAC神戸戦と5月3日の浦和戦の試合前、ユアスタのコンコースで、「熊本地震義援金募金」へのご協力を来場者の皆さんにお願いしました。

震災の発生を受けて、クラブがトップチームとレディースの公式戦で実施した募金活動です。レディース選手やレディースジュニアユースのメンバー、そしてサポーター有志とともに、「熊本地震の被災地への義援金、よろしくお願いま〜す!」と大きな声で呼び掛け

ると、たくさんの方が足を止め、それぞれのお気持ちを募金箱に寄せてくださいました。

義援金の総額は2日間で649,450円に上りました。皆さま、本当にありがとうございました。



サポーターの皆さんが次々と協力してくださいました=4月23日

◆盛況でした、ベガルタかぶと作り

5月3日の第7節浦和戦（ユアスタ）の試合前、レディース後援会は「ベガルタかぶと」作りのコーナーを設け、来場した皆さんに楽しんでいただきました。

ベガルタ仙台ホームタウン協議会の事業の一環。用意されたのは一辺約55cm、ボールを蹴るベガッ太くんのイラストや「12 SUPPORTER」といった文字があしらわれたオリジナルデザインの折り紙です。

「ベガルタかぶと、作りませんか」との呼び掛けに、小さなお子さんだけでなく、お母さんグループなどが興味深そうにのぞき込んで次々に挑戦していました。中にはスイスイとかぶとを完成させる”昔のわんぱく坊主”もいましたが、折り方が分からないという人が大半で、後援会メンバーが手順を示しながら一緒に作業。カッコいいベガルタかぶとを作り上げた子どもたちは、その場で頭に被って嬉しそうに目を輝かせていました。お孫さんへのお土産にと持ち帰るおじいちゃん、おばあちゃんもいらっしゃいました。



「ここをこう折って…」と一から手ほどきしました=5月3日

レディース後援会のホームページ

<http://vegalta-ladies.com/>

(アドレスが1月から変わりました)

特集
ふだん着の織姫たち… その14

職場での様子や趣味、オフの過ごし方など、ピッチを離れた選手の皆さんの素顔を紹介する「ふだん着の織姫たち」シリーズ。今回ご紹介するのはMF 西川明花選手（背番号 19）です。

にしかわ あすか
西川 明花選手 (24歳)

=みやぎ生協サービス事業部勤務=

●写真の加工も全て自分で●

飲食関係を中心に、生協が「家族や大切な人を連れて行きたいと思えるような特色あるお店」として組合員に推奨している「COOP フレンドショップ」。その店を実際に訪ね、生協の公式フェイスブックやホームページに 500~600 字ほどの軽妙な文章とふんだんな写真でレポートする仕事に、主として携わっている。

「書くのは得意じゃないです。そのお店に行きたいと思ってもらえるような文章にしていけないといけないので、なかなか難しい」と話すが、取材した内容をまとめるのにさほど時間は掛からない。手直しされることも「あまりない」とも。手間が掛かるのはむしろ写真。「ぼかしを入れたり、ちょっと明るくしたりの加工も全部自分でしています。それと、おいしそうに見せるにはどんな撮り方が良いか工夫したり」

取材の際はチームメイトと一緒にすることが多く、レポートに添える写真にも顔が載る。「フレンドショップはまだまだ知られてません」と残念がるが、2週に1度、お店の紹介を更新するとフェイスブックの閲覧数は普段の10倍、「いいね!」も5倍に伸びるというから、レディース選手によるPR効果は抜群だ。サポーターに「今度行ってみるね」と声を掛けられたこともあったか。

●トレードマークはその笑顔●

札幌の出身だが「大学（吉備国際大）で岡山に行って初めて、北海道のお寿司がすごくおいしいんだと分かりました」と打ち明ける。好きな食べ物は牛タンやエビ。「料理はしますけど、人から『何それ?』って言われます」と頭を掻く。オフの日は「ゴロゴロしてるか、その辺をブラブラしてるかですけど、外に出てることの方が多いか

なあ」。ファッションのブランドに特にこだわりはなく、「安くて良いものを探しています」とニコリ。

そんな笑顔がトレードマークで、チーム内では「師匠」と呼ばれる愛されキャラ。だが、実は初対面ではすごく口数が少なくなると言い、「人見知り。それも結構レベルが高いと思います」と自己分析する。

学生時代の2012年、U-20女子W杯で3位となった輝かしい実績を持つが、入団後の出場はまだわずか。「キックだったりトラップだったり基礎的な技術をもっと高めないと。それから、自分は本能的な部分でサッカーしちゃうんですけど、プラスしてもっと頭も使えるようになっていかないといいません」と課題を挙げる。



目標は『何かをしそう』と思わせる選手。なでしこジャパンへの思いを尋ねると、「まずは自分のチームで試合に出ないとダメ。そこからです」と、足元をしっかりと見詰めている。

<応援しています!!>

●「1」を言えば「10」分かる●

理解能力が非常に高いです。「1」言えば「10」分かってくれると言いますか、指示されたことをよく聞いて、それをどうすればいいかの判断が優れており、仕事をする上でとても頼もしい存在です。メンバーさんの集まりに出ていくこともあるのですが、しゃべりが大好評でかわいがられていますよ。ケガなくスタメンになれるように、そして生協から（佐々木蘭選手に次ぐ）第2の日本代表に選ばれるよう活躍してほしいですね。（上司の佐藤安典さん）

文：K. Tsuge イラスト：K. Honma

ステキなお店を紹介しています